

# ■平成29年度第1回在宅療養推進協議会の議論のまとめ

参考1

| 問題のカテゴリ                      |      | 問題・現状                                  | 課題  | 解決策(案)                              |
|------------------------------|------|--|---|-------------------------------------|
| 負担の大きさ                       | 医師   | 24時間対応の負担が大きい                          | 負担を減らす必要がある   | 区で医師を雇用する<br>医師会の医師紹介サービスを活用する      |
|                              | 訪看   | 24時間対応の負担が大きい                          | 夜間対応の負担を軽減する必要がある   | 患者(利用者)の状態予測をして日中に対応をする             |
|                              | 介護   | 定期巡回のヘルパーの夜間対応が多い                      | 24時間対応できる事業所を増やして負担を軽減する必要がある                                     |                                     |
| 24時間、障がい者、難病対応できる訪問介護事業所が少ない |      | 24時間対応できる事業所を増やして負担を軽減する必要がある          |   |                                     |
| 連携                           | 病院間  | 転院の受け入れ先の体制が整っていない                     |   |                                     |
|                              | 医師間  | 外来患者が受診しなくなった場合に患者がどうなったのか分からない        | 患者を引き継ぐ際に医師同士で連携し、患者についての情報を共有する必要がある                             |                                     |
|                              | 多職種間 | 在宅医療で薬剤師が活用されていない                      | 薬剤師が在宅に訪問することを介護関係者に周知する必要がある                                     | 在宅医療の研修や薬剤師会で在宅療養における薬剤師の役割を周知する    |
| 資源の少なさ                       | 医療   | 在宅医療・訪問診療を実施している医師が少ない                 | 在宅医療へ関与させるための誘導策が必要<br>外来診療があり時間的な余裕がない                           |                                     |
|                              |      | 看取りまで行くかかりつけ医が少ない                      | 外来診療があり時間的な余裕がない  | バックアップ病院を活用する                       |
|                              |      | 訪問診療を実施している歯科医師が少ない                    | 外来診療があり時間的な余裕がない  |                                     |
| 情報の不足                        | 医療   | 訪問歯科診療をどこに依頼すればいいのかわからない               |   |                                     |
| 啓発・教育                        | 市民向け | 認知症サポーター修了者が実際の支援の場に出ていない              | 修了者に定期訪問などの事業への協力をしてもらう必要がある                                      | 修了者に声かけをして、定期訪問などの事業への協力依頼を検討している   |
| 孤立死                          |      | 孤立死が増加する                               | ケースワーカーを増やす必要がある<br>(孤独死の多発群である)65歳前後の独居男性に介護予防活動や社会参加をしてもらう必要がある |                                     |
|                              |      | 社会から孤立する人がいる                           | ひとり暮らしの高齢者が孤立しないようにする必要がある  | 区の見守り事業を充実させる<br>地域包括支援センターの機能強化をする |
|                              |      |  | 社会と関わり持ちながら生活できる場が必要  | 「街角カフェ」などの交流の場がある街作りを進める            |
| その他                          |      | 急性期病院の経営環境が厳しい                         |   |                                     |
|                              |      | 介護士の採用が難しい                             |   |                                     |
|                              |      | 地域包括支援センターが25箇所の本所へ拡充されるが人員体制が追いついていない | 地域包括支援センターのコーディネーターの育成が必要   |                                     |
|                              |      | 退院先の施設・病院に患者の家族が難色を示す                  | 施設や病院への入居を早く決めないと埋まってしまうことを周知する必要がある                              |                                     |